

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-37 管渠維持管理費					タイムスコード及び個別事業名				
	□支援部門					536	汚水管渠の修繕			
主管課	下水道課		関連課 作業センター、浄化センター、道水路管理課			536	補償事務			
分野名	下水道課・河川									
目標 (目標値)	・汚水管渠施設の適切な維持管理を行い、機能維持を図る。 ・大雨時、汚水本管が満管状態で使用できない水洗便所を使えるようにする。									
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考						
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)						
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯							
	処理人口	171,024人	170,233人							
運営資源 状況	決算値	67,725千円	69,769千円							
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	67,725千円	69,769千円							
	人員配置数	0.9人	1.2人							
	人件費	7,978千円	10,740千円							
	協働の パートナー									
事務事業 運営経費	総事業費	75,703千円	80,509千円							
	市民1人当 りの経費	429円	456円							
	対象者1人 当りの経費	443円	473円							
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)H20	団体名	鎌倉市	小田原市	厚木市	大和市	海老名市				
	維持管理費(百万円)	277	144	232	158	340	20年度	実数	33,324	
	処理区域人口(千人)	170.2	158.0	194.0	203.9	121.4	21年度	実数	31,019	
	対象者一人当り(円)	1627	911	1196	775	2801	22年度	32,200		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・他企業の道路占用工事において、掘削範囲内に破損等を発見した際には必ず市に連絡を入れるようお願いしてきたが、補修のため工事を中断する等の理由から、なかなか協力が得られない状況である。 ・道路舗装の状態が悪いところが多く、マンホール蓋との段差が生じ騒音・振動等の苦情が増えて対応が追いつけなくなっている。								
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・緊急で作業センターに依頼した際に人手が足りない場合、交通整理等を手伝い対応を早めてもらっている。 また、補修工事が待てない場合に、程度により作業センターから材料を支給してもらい、施工は相手方に無償で実施してもらっている。 ・苦情対応が出来なかった箇所は作業センターに応急処置を施してもらい凌いでいる。								
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 道路舗装も含め管路施設の老朽化により、予定箇所以外の浚渫や緊急補修箇所が増加して、工夫しても苦情を減らせない状況である。								
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 予算の配分変えをするなどして、できるだけ市民に迷惑がかからない様に対応したい。								
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)					
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了										
評価結果	改善の必要性	汚水管渠の浚渫や緊急補修・維持修繕工事等については、既存管路施設の機能維持を図るため今後も継続し、より一層の市民サービスに努める。				評価結果	改善の必要性	下水道施設の機能を正常に保つことは必要不可欠であるため、今後も適切な維持管理を行う。		
B	無					B	無			
課長名		下水道課課長代理 宮崎 隆				部名・部長名		都市整備部 山内 廣行		